

指定訪問リハビリテーション/井上病院介護予防訪問リハビリテーション運営規程

(事業の目的)

第1条 医療法人順心会が開設する井上病院（以下「事業所」という。）が行う指定訪問リハビリテーションの事業（以下、「事業」という。）の適正な運営を確保するために人員及び管理運営に関する事項を定め、事業所の理学療法士、作業療法士又は言語聴覚士（以下、「理学療法士等」という。）が、計画的な医学的管理を行っている医師の指示に基づき、介護予防にあつては要支援状態にある者の自宅を訪問して、適切なリハビリテーションを提供することを目的とする。

(運営の方針)

第2条 事業は、介護予防にあつては要支援状態となった場合においても、その利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、利用者の居宅において、理学療法、作業療法又は言語聴覚療法その他必要なリハビリテーションを行うことにより、利用者の心身の機能の維持回復を図ることとする。

2 事業の対象者は、病状が安定期にあり、診察にもとづき実施される計画的な医学的管理の下、自宅でのリハビリテーションが必要であると主治医が認めた通院が困難な要支援者とする。

3 事業の実施にあつては、居宅介護支援事業者その他、保健医療福祉サービスを提供する者との密接な連携に努めるとともに、関係市町村とも連携を図り、総合的なサービスの提供に努めることとする。

(名称及び所在地)

第3条 事業を実施する事業所の名称及び所在地は次のとおりとする。

- 1 名称 井上病院
- 2 所在地 愛知県瀬戸市川北町2丁目11

(従業者の職種、員数、及び職務内容)

第4条 事業の従業者の職種、員数、及び職務内容は次のとおりとする。

(1) 管理者 井上病院院長

管理者は、従業員の管理及び事業の利用の申込みに係る調整、業務の実施状況の把握その他の管理を一元的に行うものとし、また、医学的観点から計画の作成に必要な情報提供及びリハビリ方法についての指導、助言や利用者・家族に対する療養上必要な事項の指導、助言を行う。

(2) 従業者

医師 常勤1名以上

理学療法士等 常勤3名以上

従業者は、医師の指示・介護予防訪問リハビリテーション計画に基づき居宅を訪問し、利用者に対し介護予防サービスを行う。

(営業日及び営業時間)

第5条 事業の営業日及び営業時間は、次のとおりとする。

- 1 営業日 月曜日から金曜日。ただし、国民の祝日及び12月30日から1月3日までを除く。
- 2 営業時間 午前8時30分から午後5時30分
- 3 サービス提供時間 午後1時00分から午後5時15分

(事業の内容)

第6条 指定訪問リハビリテーションは、主治医の指示に基づき、介護予防にあつては要支援者の心身の機能の回復を図るため、療養上の目標と具体的なサービスの内容を記載した介護予防訪問リハビリテーションを作成するとともに、主要な事項について利用者又はその家族に説明し、利用者の同意を得て、当該計画を利用者に交付するとともに、当該計画に基づく適切なリハビリテーションを提供する。

(通常の事業の実施地域)

第7条 通常の事業の実施地域は、尾張旭市、瀬戸市の一部区域とする。*詳細は別紙参照

(利用料その他の費用の額)

第8条 この事業を提供した場合の利用料の額は、厚生労働大臣が定める基準によるものとし、指定訪問リハビリテーションが法定代理受領サービスであるときは、介護報酬告示上の額に各利用者の介護保険負担割合証に記載された負担割合を乗じた額とする。

- 2 第7条に規定した通常の事業の実施地域を越えて行う交通費については、次の費用を徴収する。
事業所から往復10km以上 500円
- 3 交通費の徴収に際しては、あらかじめ利用者又はその家族に対し、当該サービス内容及び費用について説明を行い、支払いに同意する旨の文書に署名(記名・押印)を受けるとする。

(緊急時における対応方法)

第9条 この事業の提供を行っているときに利用者に病状の急変等が生じた場合は、必要に応じて臨時応急の手当てを行うとともに、速やかに主治医への連絡を行い、指示を求める。

(虐待の防止のための措置に関する事項)

第10条 事業所は、虐待の発生又はその再発を防止するため、次の措置を講ずる。

- (1) 事業所における虐待の防止のための対策を検討する委員会(テレビ電話装置等を活用して行うことができるものとする。)を定期的で開催するとともに、その結果について、理学療法士等その他の従業者に周知徹底を図ること。
- (2) 事業所における虐待の防止のための指針を整備すること。
- (3) 事業所において、理学療法士等その他の従業者に対し、虐待の防止のための研修

を定期的に（年1回以上）実施すること。

（4） 前三号に掲げる措置を適切に実施するための担当者を置くこと。

（身体的拘束等の適正化の推進）

第11条 事業所は、不当な身体拘束をなくし、高齢者の尊厳を守ります。

（1） 利用者の生命・身体を保護するための緊急やむを得ない場合を除き、身体拘束を行わない。

（2） 身体拘束を行う場合は、その対応、時間、利用者の心身の状況、緊急やむを得ない理由を記録する。

（その他運営に関する留意事項）

第12条 事業所は、従業員の質的向上を図るための研修の機会を設け、業務体制を整備する。

（1）採用時研修 採用後 6カ月以内

（2）継続研修 年1回

2 従業員は業務上知り得た利用者又はその家族の秘密を保持する。

3 従業員であった者に、業務上知り得た利用者又は家族の秘密を保持させるため、従業員でなくなった後においてもこれらの秘密を保持させるべき旨を従業員との雇用契約の内容とする。

4 この規程に定める事項のほか、運営に関する重要事項は、医療法人順心会井上病院と事業所の管理者との協議に基づいて定めるものとする。

附 則

この規程は、令和6年6月1日から施行する。